

イベント カレンダー

詳細や最新情報はWEBでご確認下さい



6月

6月27日(土) 教員・観察会指導者向け支援プログラム 「ホネ取り、ホネ並べ」

ホネを見れば動物の進化や暮らしの色々な事がわかります。ホネの標本作りを解説し、体験すると共に、ホネを並べて動物の体の仕組みを考えます。
■場所 自然史博物館 実習室

6月28日(日)、7月2日(木)、7月5日(日) ホネホネ "アート" ワークショップ

■企画 NPO法人大阪アーツアポリア
■講師 池田朗子

7月12日(日) 大人向けワークショップ「標本を作ってホネを知る」

標本作りは、じっくりとホネを見るいい機会になります。実際にホネの標本を作りながら、ホネの基本を学んでみましょう。
■場所 自然史博物館 実習室

7月19日(日)～8月30日(日)土日祝 子どもワークショップ

ハカセとホネホネたんけん隊
7/19日(日)、20日(祝)
8/1日(土)、2日(日)、15日(土)、16日(日)、29日(土)、30日(日)
■時間: 11:30 / 1:30 / 3:30

だれの手? なにの手? あててみよう!

7/25日(土)、26日(日)
8/8日(土)、9日(日)、22日(土)、23日(日)
■時間 11:00 / 1:00 / 2:15 / 3:30
■場所 ネイチャーホール 特別展会場内

7月18日(土) 自然史オープンセミナー「ホネで学ぶ、ホネで楽しむ」

ホネには動物の秘密がたくさんつまっています。ホネについての基礎知識を紹介すると共に、ホネの見方、楽しみ方を考えてみたいと思います。
■場所 自然史博物館 集会室

7月

8月

8月9日(日) 室内実習「ホネの標本製作講座」

自分で骨格標本を作れるようになります。ホネの標本の作り方を解説した上で、実際に小動物の全身骨格標本を作ってみます。
■場所 自然史博物館 実習室

8月15日(土) 自然史オープンセミナー「ホネの形」

動物の骨には、ずいぶん変わったものがあります。また、動物の種類によって、有ったり無かったりする骨もあります。動物の生活と骨の形の関係を見てみましょう。
■場所 自然史博物館 集会室
■講師 樽野博幸(自然史博物館 地史研究室)

7月
26日(日)
自然史博物館
講堂

普及講演会「一学者、死体と闘う」 ■講師 遠藤秀紀(東京大学総合研究博物館)

死体と闘うことが、私の仕事だ、死体は人類がまだ手にしていない真実を隠しもつ。死体を見て、死体に触れて、死体を切って、死体に真実を語らせて、最後にそれを未来へ引き継ごう。それが私にできる唯一の闘いだ。

<講師自己紹介>
東京台東区は下谷・根岸が故郷。1965年生まれ。林家三平(もちろん先代)師匠をまぶし仰ぎ見、朝顔市を一年で最高の楽しみに思いながら育った。人生の大半を都心で暮らし、生物学のセンスは豊かな自然に育まれた子供が品行方正に身につけるものというよくある作り話を、木っ端微塵に打ち砕く。実際の子供に禄を食む。少し前まで、国立科学博物館の研究員や京都大学霊長類研究所の教授をしていたこともあった。最近では、自分の仕事を、「遺体科学」と呼ぶ。何をするかといえば、死体集めだ。動物の死体を無制限無目的に集め、メスとピンセットを手に、自分の眼と指先で死体と対決する。五感をもって発見を成し遂げ、人類に新しい知をもたらすのだ。今流に合理的に説明づけられない徹底した収集と解剖は、だがしかし、恥ずかしくないくらいくばくかの知見を得る。ニワトリの肢、アリクイの顎、パンダの掌、イルカの気管、エイの心臓などを眺めながら、あれっと思うたびに、発見を世に送る。死体を注視しながら、からだの歴史についてぼんやりと考えている時間が、何より好きなのである。そして最後には、遺体現物を未来に残す。説明責任とかいう行革マニアのアリバイ作りが伴う収蔵庫建設は、自分の性に合わない。好きな死体を有無を言わずできるだけたくさん残すのが、未来の文化への最も正しい貢献だと信じつつ、今日も死体を担ぐ。結局、死体に隠された進化の謎を追い、死体を文化の礎として未来へ引き継ぐべく駆けずり回る毎日が、楽しい。本屋へ行くと、「人体 失敗の進化史」(光文社新書)、「パンダの死体はよみがえる」(ちくま新書)、「解剖男」(講談社現代新書)などが並んでいるが、本当は小説を書きたいのだ。実は獣医師だが、もちろん動物の命を救うことはない。イヌやネコの命を救う手技自体は、営業とはなり得ても、科学とは関係が乏しいからだ。それよりも、死と現代社会の間柄を斬りながら、日々を生きよう。今日はそんな自分の毎日を皆さんと語り合えれば嬉しく思う、だけどやはり、解剖より、鉄道模型や東宝特撮や純文学の方が得意かも。

8月
22日(土)
23日(日)

ホネホネサミット 2009

- ポスター発表
- ブース展示
- ホネホネ☆発表会
- 招待講演会

ホネホネサミットは、博物館などでホネの標本づくりをしている人たちが、ホネに関わる活動をしている人たちが集まるイベントです。ホネの標本を展示し、活動を紹介し、皮むきや骨取り技術を紹介します。動物の死体を標本として残すことの意義、そしてホネの魅力を、広く知ってもらおう機会にもしたいと思います。動物に興味のある多くの方の来場をお待ちしています。

主催: なにわホネホネ団、大阪市立自然史博物館、NPO法人大阪自然史センター



地下鉄御堂筋線「長居」3号出口→東へ約800m
JR阪和線「長居」→東へ約1km

平成21年7月4日(土) ▶ 8月30日(日)

- ▶ 開館時間 午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)
- ▶ 休館日 毎週月曜日(休日の場合は翌日)
- ▶ 観覧料 大人500円 / 高校生・大学生 300円 / 中学生以下 無料

常設展や植物園も見られるセット券がお得です。大人700円 / 高校生・大学生400円

*障害者手帳などをお持ちの方、大阪市内在住の65歳以上の方(要証明)は無料。
*博物館本館・長居植物園への入場は、別途料金が必要です。(セット券を除く)

会
場

大阪市立自然史博物館

ネイチャーホール(長居公園 花と緑と自然の情報センター2F)
〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園1-23 06-6697-6221
http://www.mus-nh.city.osaka.jp/ 自然史博物館 検索